

# 第187回（定例）代議員会報告書〔Ⅰ〕

## （1）令和元年度事業報告

令和2年6月13日

公益社団法人  
愛知県医師会

## (1) 令和元年度事業報告

## 事業に関する報告書

令和元年度の本会会務の運営並びにその事業の実施状況は、その都度「愛知医報」等でご報告をいたしました。

その大要は次の通りであります。

### ○ 庶務に関する事項

#### 1. 会員の異動

入 会	838名（県内異動も含む）
退 会	562名（ 〃 ）
死 亡	83名

現在会員数 10,082名〈別表1参照〉

（令和2年3月31日現在）

#### 2. 文書の収受、発送

収 受	18,217件
発 送	386,111件

#### 3. 会員の榮譽

(1) 令和元年春の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り榮譽をたたえました。

旭日双光章	横 井 隆 殿
旭日双光章	吉 田 貴 殿
瑞宝小綬章	市 川 敏 男 殿
瑞宝小綬章	奥 谷 博 昭 殿
瑞宝双光章	伊 藤 豊 彦 殿

令和元年秋の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り榮譽をたたえました。

旭日双光章	船 橋 重 喜 殿
瑞宝中綬章	稲 福 繁 殿
瑞宝双光章	深 見 武 志 殿
藍 綬 褒 章	中 澤 仁 殿

(2) 令和元年愛知県医師会表彰規程による被表彰会員に記念品を贈り表彰する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し令和2年3月の第185回（臨時）代議員会は次第を一部変更して開催いたしました。そのため慶祝を延期いたしました。

東 名 古 屋	永 井 修一郎 殿
蒲 郡 市	下 郷 宏 殿
西 尾 市	神 谷 守 雄 殿

(3) 令和元年難病の学術的研究に功績のあった会員に記念品を贈り表彰する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し令和2年3月の第185回（臨時）代議員会は次第を一部変更して開催いたしました。そのため慶祝を延期いたしました。

名古屋大学大学院医学系研究科	
神経遺伝情報学教授	大 野 欽 司 殿
名古屋市立大学大学院医学研究科	
新生児・小児医学分野教授	齋 藤 伸 治 殿
愛知県済生会リハビリテーション病院	
名誉院長	長 嶋 正 實 殿
愛知医科大学加齢医科学研究所	
教授	吉 田 眞 理 殿

#### 4. 物故会員

本年度（平成31年4月～令和2年3月届出分）の物故会員は83名でありました。〈別表2参照〉  
謹んでご冥福をお祈りいたします。

#### ○ 事業に関する事項

##### 1. 会 議

(1) 代議員会 2回

◆ 愛知県医師会第184回（定例）代議員会を令和元年6月15日(土)愛知県医師会館において開催し、次の報告、議事、協議を行いました。

報 告

(1) 平成30年度事業報告

議 事

第1号議案 平成30年度決算に関し承認を求めるの件

## 協 議

地域医療構想、在宅医療サポートセンター事業

- ◆ 愛知県医師会第185回（臨時）代議員会を令和2年3月21日(土)愛知県医師会館において開催し、次の議事を行いました。なお、今回は新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、感染症対策を行うとともに一部次第を変更して開催しました。また、書面による議決権行使を採用しました。

## 議 事

- 第1号議案 令和2年度会費の賦課徴収に関する件
- 第2号議案 令和2年度会費減免申請に関する件
- 第3号議案 令和2年度入会金の賦課徴収に関する件
- 第4号議案 公益社団法人愛知県医師会選挙規則の一部改正に関し承認を求めるの件

### (2) 理事会 40回

- ◆ 原則毎月第1木曜日を除く第2～第5木曜日に開催。  
内容については、その都度、愛知医報・ホームページ(情報公開)に掲載いたしました。

### (3) 各種委員会・部会・協議会・その他

- ・医学教育の向上
  - 「現代医学」誌編集委員会 2回
  - 「現代医学」誌編集（小）委員会 2回
  - 指導医のための教育ワークショップ 1回
  - 治験審査会 12回
- ・医師の生涯教育
  - 生涯教育委員会（書面にて開催） 1回
- ・医療政策・医事法・医業経営の調査・研究（調査室）
  - 調査室委員会 19回
  - 調査室委員会勉強会 1回
  - 保険医協会との懇談会 5回
- （愛知県医師会地域医療政策研究機構）
  - 愛知県医師会地域医療政策研究機構委員会 10回
- ・公衆衛生の指導啓発

健康教育委員会	5回
環境衛生委員会	3回
愛知県新型インフルエンザ等対策総合訓練	1回
感染症及び結核講演会	1回
愛知県広域予防接種事業運営委員会	6回
愛知県医師会新型コロナウイルス感染症対策本部会議	4回
新型コロナウイルス感染症対策講習会	2回
・地域医療の推進発展	
愛知県医師会医療圏医療協議会（新型コロナウイルス感染症対策会議）	1回
四大学連絡協議会	1回
愛知県地域医療構想推進委員会	2回
地域医療構想の進め方に関する研修会	3回
地域医療構想の推進に関する研修会	1回
難治性疾患委員会	1回
警察部会幹事会	1回
愛知県医師会検視医研修会	1回
警察関係業務に関する勉強会	1回
麻薬等に関する懇談会	1回
勤務医部会幹事会	6回
愛知県糖尿病対策推進会議	1回
「国民医療推進協議会」役員会	1回
「国民医療推進協議会」地域集会	1回
小児在宅医療推進企画委員会	3回
小児在宅死亡例検討ワーキンググループ	7回
あいち小児在宅医療実技講習会	1回
春日井・小牧小児在宅医療講習会	1回
西三河南部小児在宅医療講習会	1回
せん妄対策研修会	2回
摂食・嚥下機能支援に関する研修会	2回
在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議	3回
・救急医療・災害医療対策	
救急委員会	8回
救急小委員会	1回

災害時医療救護活動における検討会	1回
災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	1回
愛知県医師会無線システム災害想定訓練	9回
BLS&AED講習会（名古屋市医師会と共催含む）	2回
愛知県・豊橋市総合防災訓練	1回
中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練	1回
県営名古屋空港消火救難総合訓練	1回
愛知県救急医療推進大会	1回
愛知県医師会PTLS講習会	1回
愛知県医師会ICLS研修会	1回
愛知県災害医療コーディネーター研修	1回
愛知県における重症小児患者の診療実態に関する症例検討会	1回
小学生のための救急蘇生法講習	27回
小児救急に関する研修会	2回
小児救急連携体制協議会（第3回は書面にて開催）	3回
・地域保健の向上	
産業保健部会幹事会	5回
学校保健部会幹事会	5回
学校保健部会学校健診委員会	4回
かかりつけ医等心の健康対応力向上研修会	3回
かかりつけ医等アルコール依存症対応力向上研修会	1回
心電図精度管理調査解析検討会	1回
学校保健健診懇談会	1回
令和2年度定期健康診断における精度管理説明会（書面にて開催）	1回
母体保護法指定医師審査委員会	6回
母体保護法指定医師講習会	4回
・医療保険・介護保険の充実	
（医療保険関連）	
社保集団指導講習会並びに医療安全説明会	4回
社保指導委員会	5回
社会保険診療報酬支払基金愛知支部と公益社団法人愛知県医師会との 意見交換会	1回
全国健康保険協会愛知支部と公益社団法人愛知県医師会による意見	

交換会	1回
(介護保険関連)	
地域医療介護委員会（第6回は書面にて開催）	6回
地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会	1回
保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム	1回
認知症地域医療研修検討委員会	6回
医療従事者の認知症対応力向上研修	3回
かかりつけ医認知症対応力向上研修	2回
認知症サポート医フォローアップ研修及び認知症疾患医療センター	
地域連携担当者向け研修会	1回
認知症疾患医療センター事業評価検討ワーキンググループ	2回
・医療安全対策の推進	
医療安全対策委員会	12回
医療安全対策（小）委員会	5回
医療安全対策委員会勉強会	1回
医療安全支援センター（苦情相談センター）委員会	11回
医療安全支援センター（苦情相談センター）小委員会	2回
愛知県医療事故調査等支援団体等協議会幹事会	2回
・医療施設の整備	
精度管理委員会	2回
精度管理（小）委員会	1回
・会員の福祉の向上	
会員相談窓口事例検討会	2回
事業概要等説明会	2回
令和元年度『自賠責保険研修会』	1回
・医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動	
(渉外)	
中部医師会連合常任委員会	13回
中部医師会連合常任委員会懇談会	2回
中部医師会連合日医代議員協議会	1回
中部医師会連合事務局長連絡協議会	2回
中部医師会連合委員総会	1回
中部医師会連合社会保険特別委員会	1回

中部医師会連合地域包括ケア特別委員会	2回
中部医師会連合医師確保対策特別委員会	2回
中部医師会連合災害医療担当理事連絡協議会	1回
中部医師会連合共同利用施設連絡協議会	1回
関西医師会連合常任委員会	1回
(IT化対策)	
ホームページ・IT化対策委員会	5回
(広報)	
広報委員会	9回
報道関係者との懇談会	2回
・医師・医療従事者対策	
(勤務環境改善支援)	
労働時間等説明会	6回
勤務環境の整備に関する講習会	1回
(医師確保対策事業の推進)	
男女共同参画委員会	5回
医学生、研修医等をサポートするための会	1回
愛知県医師会・名古屋市医師会 新研修医並びに指導医ウェルカム パーティ	1回
(医療従事者対策)	
医療関連職検討委員会	1回
愛知県看護協会との懇談会	1回
医療事務員講習会	30回
医療事務員資格認定試験	1回
・会務運営・総務・財務	
県下医師会長等協議会	8回
議事運営委員会	2回
人事委員会	4回
選挙管理委員会	1回
定款諸規程等検討委員会	1回
監事会	1回
臨時監事会	1回
・その他	

倫理委員会（書面にて開催）	1回
第30回日本医学会総会2019中部ソーシャルイベント	8回
日本医師会・愛知県医師会共催懇親会	1回
産業医研修会（医学会総会事前参加登録者対象）	9回

## 2. 業 務

### (1) 諸調査の実施

- 1) 救急患者実態調査
- 2) 休日診療所における救急患者実態調査
- 3) 急性期脳卒中に関するアンケート調査
- 4) 急性心筋梗塞に関するアンケート調査
- 5) 熱傷入院患者取扱実績報告
- 6) 中部7県・大都府県における個別指導等の状況に関するアンケート調査
- 7) 中部7県における個別指導の実施体制に関するアンケート調査
- 8) 在宅医療の提供と医療・介護連携に関する実態調査
- 9) 在宅医療・介護連携推進事業の運営状況に係るアンケート調査
- 10) 退院調整・入院病床確保における連携ルールに関する実態調査
- 11) 愛知県内の在宅医療を受けていて死亡した小児に関する調査
- 12) 育児期継続就労支援に関するアンケート調査
- 13) 医療事故調査・支援センターへの報告に関するアンケート
- 14) 小児時間外救急の実態調査
- 15) 気管支喘息発作に関するアンケート調査
- 16) 愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査（1次）
- 17) アナフィラキシーに関するアンケート調査
- 18) 学校医・園医報酬調査
- 19) 医療機関に退蔵されている水銀血圧計等回収事業の保有量調査
- 20) 4月27日から5月6日までの10連休における医療提供体制の確保に関する対応に関する調査
- 21) 「子どもの定期予防接種の県外接種への対応」に関するアンケート調査

### (2) 会報・医学雑誌その他の発行

- ・愛知医報
- ・「現代医学」誌 第66巻1号、第66巻2号（Web版）

### (3) 医学教育の向上

#### ・現代医学

「現代医学」誌編集委員会において、第66巻2号（平成30年12月号）・67巻1号（令和元年6月号）・第67巻2号（令和元年12月号）の掲載内容を検討いたしました。

「現代医学」誌においては、第66巻1号・第66巻2号（Web版）を発行いたしました。

#### ・スポーツ医学

1) 健康スポーツ医の養成とその資質向上を通して地域保健活動の一環である健康スポーツ医活動の推進を図るために、日本医師会が定めた講習科目に基づく健康スポーツ医学講習会を修了したと認められる医師に、日本医師会認定健康スポーツ医の認定証が交付されます。本会ではその新規・更新に係る手続きを7月1日(月)、8月30日(金)、10月25日(金)、1月7日(火)、2月26日(水)に行いました。

2) 各団体が実施する研修会において、日本医師会認定健康スポーツ医制度における健康スポーツ医学再研修会としての承認申請の手続きを7月10日(水)、7月18日(木)、8月30日(金)、10月25日(金)、1月7日(火)に行いました。また、日本医師会承認の健康スポーツ医学再研修会を愛知医報に掲載して周知いたしました。

3) 本会主催の日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会を本会館地下健康教育講堂において下記3回開催いたしました。また、各研修会の参加者には受講証明書を交付いたしました。

第1回は9月6日(金)に「上肢スポーツ外傷－たかが突き指、されど突き指－」と題し、岐阜県総合医療センター副院長兼整形外科部長横井達夫先生にご講演いただき、28名の参加者がありました。

第2回は10月9日(水)に「スタミナアップで若返り－強負荷リハビリテーションの効果－」と題し、浜松医科大学医学部附属病院リハビリテーション科病院教授山内克哉先生にご講演いただき、24名の参加者がありました。

第3回は12月4日(水)に「運動部活動の在り方～スポーツ庁ガイドラインと熱中症を中心に～」と題し、元国立スポーツ科学センターセンター長川原貴先生にご講演いただき、31名の参加者がありました。

#### ・治験推進事業

1) 先駆的な新薬開発に携わるという学術的な意義を会員に理解していただくことを目的として、臨床試験及び製造販売後臨床試験等の実施ネットワークを構築かつ推進するため、治験依頼者からの治験相談、治験実施医療機関の登録及び環境整備の支援を行いました。

2) 主として製薬会社主導の治験審査を行っており、会員治験実施医療機関が治験を安全かつスムーズに行えるよう、毎月治験審査会を開催いたしました。

#### (4) 医師の生涯教育

##### ・生涯教育

- 1) 「日本医師会生涯教育講座」を8月～12月に8回開催いたしました。(別表3参照)
- 2) 平成30年度より「日本医師会全国医師会研修管理システム」を本会及び県下各地区医師会にて運用を開始し、令和元年度日本医師会生涯教育制度の単位申請にあたり、審査及び登録を行い、主催者から提出される報告書を基に、上記システムに受講実績を登録いたしました。

#### (5) 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

##### ・調査室

- 1) マスメディア・業界誌はもとより、日医・関係団体、国会・地方議員、行政、有識者等の幅広い人脈を活かし、医療問題に限らずそれに影響する国内外の政治情勢、経済動向などに関する情報を収集し、議論を重ねました。その上で、あるべき医療政策の実現に向けて必要な提言・要望を行い、安心・安全な医療提供体制を維持する上で、健全な医業経営に向けた環境整備が必要であるとの考えのもと、関係法令の解釈、診療報酬改定や税制改正に伴う影響等についても検証いたしました。
- 2) 日医医業税制検討委員会に委員として参加し、会長諮問事項について検討・協議いたしました。
- 3) 医療関係制度を始め、近年注目される事項についての最新知見を愛知医報に調査室だよりとして掲載し、会員への周知をいたしました。
- 4) 愛知県医師会調査室委員会勉強会として2月8日(土)に「今後の超高齢・少子社会と国民皆保険制度の財源選択」をテーマに日本福祉大学名誉教授の二木立先生にご講演いただき、45名の参加者がありました。

##### ・愛知県医師会地域医療政策研究機構

毎月1回委員会を開催、「医療計画」、「地域医療構想」、「働き方改革」、「医師偏在対策」、「外来医療計画」、「医師法・医療法の一部改正」等について議論いたしました。

#### (6) 公衆衛生の指導啓発

##### ・健康教育

- 1) 健康教育委員会では、健康教育講座、あいち健康ナビの運営や広報活動等について検討・協議いたしました。
- 2) 県民を対象とした健康教育講座を各分科医会の協力のもと、本会館において11回開催いたしました。また、名古屋市外での地域開催を11回開催いたしました。(愛知県泌尿器

科医会、豊橋市医師会、碧南市医師会、新城市医師会、豊田加茂医師会、整形外科医会、岡崎市医師会)〈別表4参照〉

- 3) 3月3日(火)(本会開催)・3月21日(土)(地域開催分)に予定していました健康教育講座は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止いたしました。
- 4) 県民向けに「誰もが・いつでも・どこでも」正しい健康情報を手に入れられるよう、愛知県の委託事業として、健康情報の総合サイト「あいち健康ナビ」を運用しております。セミナー、イベント情報の充実を図るため、県内の病院等(会員機関等)、101機関(1月29日現在)に本サイトよりセミナーやイベント情報を発信する投稿団体としてご登録いただいております。

・環境衛生

- 1) 感染症、予防接種、環境保健、結核等対策につきまして、県当局と連携し、地域医師会への情報提供を行いました。
- 2) 愛知県保健医療局健康医務部健康対策課が主催する関係会議へ出席し、各種事項について検討・協議いたしました。
- 3) 令和元年度結核・感染症対策講習事業として、名古屋市医師会・一宮市医師会・豊橋市医師会に事業を委託し、愛知県医師会でも10月5日(土)に「令和元年度 感染症及び結核講演会」を開催し、「日本における外国人結核の現状と対策について」と題し、公益財団法人結核予防会結核研究所対策支援部医学科長平尾晋先生、「OneHealthの視点から見た薬剤耐性(AMR)の現状と課題」と題し、公益社団法人日本獣医師会理事佐伯潤先生にご講演いただき、113名の参加者がありました。
- 4) 11月8日(金)に、政府全体訓練と連携した愛知県新型インフルエンザ等対策総合訓練を実施し、県下医師会のご協力のもと、情報伝達訓練を行いました。
- 5) 3月7日(土)に予定していました第5回感染症・予防接種研修会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止いたしました。
- 6) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2月17日(月)に愛知県医師会新型コロナウイルス感染症対策本部を設置いたしました。
- 7) PPEの着脱訓練講習会として、新型コロナウイルス感染症対策講習会を2回開催いたしました。また、本講習会は、TV会議システムを利用し地区医師会へ配信をしております。3月4日(水)は、8地区に配信し、「新型コロナウイルス感染症に対する医療機関の対応について～診断方法、診療施設の整備～」と題し、公立陶生病院臨床検査部長兼感染症内科主任部長兼感染制御部感染制御室主幹の武藤義和先生にご講演いただき、269名の参加者がありました。3月12日(木)は、8地区に配信し、「コロナウイルス対策」と題し、藤田医科大学病院感

染症科助教佐々木俊治先生にご講演いただき、156名の参加者がありました。

- 8) 3月21日(土)に医療圏協議会新型コロナウイルス感染症対策会議を開催し、愛知県病院協会と連名にて「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を採択し、3月24日(火)に愛知県知事へ提出いたしました。

・広域予防接種事業

- 1) 愛知県広域予防接種事業運営委員会では、間違い報告への対応、今後の対象ワクチン、各種検討事項等の検討・協議いたしました。
- 2) 令和2年度の本事業への協力依頼を2,618医療機関へ送付いたしました。
- 3) 毎月20日に接種協力医療機関・医師名簿を更新し、愛知県に提出しています。  
また、課題や間違い、書類の返戻など各種事項に対し、講習会等を通じ、留意事項として伝達いたしました。
- 4) 3月1日現在で、2,619医療機関にご登録いただいております。
- 5) 「子どもの定期予防接種の県外接種への対応」に関するアンケート調査を県下各市町村を対象に実施いたしました。県外接種者への補助制度に関する情報提供が不十分な市町村に対し、より周知徹底するよう要望いたしました。
- 6) 広域予防接種事業における高齢者インフルエンザワクチンの接種時期の統一に向けて、5月14日(月)、8月5日(月)に愛知県広域予防接種事業ワーキング会議が開催され、議論いたしました。その結果、10月15日～1月31日の期間で統一することとし、今年度は対応可能な市町村から実施し、令和2年度より全市町村で対応可能となる予定です。

(7) 地域医療の推進発展

・地域医療構想

従来の愛知県医師会医療圏医療協議会を改組し、愛知県の委託事業として「愛知県地域医療構想推進委員会」を設けることといたしました。第1回目を6月26日(水)に栄ガスビルにて開催し、地域医療構想の最新の動向、愛知県における地域医療構想の推進、医師偏在対策(外来計画、医師確保計画)について議論いたしました。第2回目を1月10日(金)に栄ガスビルにて開催し、地域医療構想の実現・医療従事者の働き方改革の推進、本県における地域医療構想の推進について議論いたしました。

また、各地域医療構想推進委員会委員等を対象とした研修会を、以下のとおり開催いたしました。

地域医療構想の進め方に関する研修会

8月3日(土) JRゲートタワーカンファレンス 21名

9月21日(土) JRゲートタワーカンファレンス 45名

9月28日(土) ホテルアソシア豊橋	37名
地域医療構想の推進に関する研修会	
9月11日(水) ミッドランドホール	136名

・病診連携

地域医療支援病院の運営委員会や、大学の運営協議会等の委員として出席し、地域の病診連携の現状及びその問題点の把握に努めました。

・四大学連絡協議会

6月27日(木)に、名古屋大学、名古屋市立大学、藤田医科大学、愛知医科大学の四大学から、総長、学長、医学部長、病院長にご出席いただき、愛知県地域医療構想を協議することを目的とした協議会を開催いたしました。

・難治性疾患対策

- 1) 難病相談室の令和元年度の相談件数は2,167件で、月平均の相談件数は181件でした。(別表5参照)
- 2) 7月24日(水)に岡崎市保健所にて開催された「令和元年度岡崎市難病対策ネットワーク会議」に出席し、難病相談室での支援内容について報告いたしました。
- 3) 7月31日(水)、8月28日(水)、10月31日(木)に開催された「愛知県・名古屋市指定難病審査会」に出席いたしました。
- 4) 愛知県・名古屋市から難病指定医等研修実施事業の委託を受け、「協力難病指定医研修」を9月8日(日)に開催し、6名の受講者がありました。
- 5) 愛知県・名古屋市から難病指定医等研修実施事業の委託を受け、「難病指定医研修」を9月8日(日)に開催し、20名の受講者がありました。
- 6) 8月2日(金)、1月31日(金)に開催された「令和元年度愛知県小児慢性特定疾病児童等地域支援協議会」に出席いたしました。
- 7) 9月18日(水)に名古屋市熱田保健センターにて開催された「令和元年度難病セミナー」に講師を派遣いたしました。
- 8) 10月25日(金)に名古屋市西保健センターにて開催された「難病患者支援連携会議」に講師を派遣いたしました。
- 9) 11月4日(月・祝)にウイंकあいちにて開催された「第47回愛知県難病団体連合会定期大会」に参加いたしました。
- 10) 「難病講習会」を10月30日(水)、11月14日(木)、11月25日(月)に愛知県、名古屋市と共催にて開催し、計348名の参加者がありました。
- 11) 11月19日(火)に碧南市民病院患者サポート室主催にて開催された「神経難病教室」に講師を派遣いたしました。

- 12) 11月20日(水)に名古屋市総合リハビリテーションセンターにて開催された「令和元年度視覚障害リハビリテーション・補助犬関連施設合同説明会」に参加し、難病相談室での支援内容について報告いたしました。
- 13) 12月5日(木)に瀬戸保健所にて開催された「令和元年度瀬戸保健所難病対策地域協議会」に出席いたしました。
- 14) 12月19日(木)に愛知県自治センターにて開催された「令和元年度愛知県難病医療連絡協議会・連絡会（合同会議）」に出席いたしました。
- 15) 12月25日(水)に豊橋市保健所で開催された「豊橋市健幸なまちづくり協議会難病対策部会」に出席いたしました。
- 16) 愛知県・名古屋市から難病指定医等研修実施事業の委託を受け、「協力難病指定医研修」を2月9日(日)に開催し、5名の受講者がありました。
- 17) 愛知県・名古屋市から難病指定医等研修実施事業の委託を受け、「難病指定医研修」を2月9日(日)に開催し、16名の受講者がありました。
- 18) 2月17日(月)に衣浦東部保健所にて開催された「令和元年度難病対策地域協議会」に出席いたしました。
- 19) 「難病グループワーク（疾患別患者・家族のつどい）」を以下のように実施し、計63名の参加者がありました。

12月11日(水)	障害年金勉強会①
12月13日(金)	膠原病患者・家族のつどい
1月10日(金)	網膜色素変性症患者・家族のつどい
1月17日(金)	障害年金勉強会②
- 20) 3月10日(火)に開催予定であった「令和元年度難病講演会」は、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を中止いたしました。

・糖尿病対策

- 1) 「世界糖尿病デー」ブルーライトアップ（11月）事業の経費補助について、愛知県糖尿病対策推進会議が窓口となり実施団体を取り纏めて、世界糖尿病デー実行委員会への申請を行いました。
- 2) 8月28日(水)に「令和元年度愛知県糖尿病対策推進会議」を開催し、愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会について検討いたしましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い講演会は中止といたしました。
- 3) 愛知腎臓財団理事会、愛知県健康づくり推進協議会、愛知県健康づくり推進協議会がん対策部会、愛知県健康づくり推進協議会健康増進部会に出席し、検討・協議いたしました。

・在宅医療

- 1) 在宅医療推進事業の一環として「せん妄対策研修会」を開催し、12月21日(土) 60名、1月18日(土) 42名、計102名の参加がありました。なお、2月22日(土)に開催を予定しておりましたが「第3回せん妄対策研修会」は、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を中止したため、参加予定者へ資料の送付をもちまして、対応いたしました。また、「摂食・嚥下機能支援に関する研修会」を開催し、1月25日(土) 256名、2月11日(火・祝) 127名、計383名の参加者がありました。

在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議の一環として、県内地域の医療介護連携担当実務者を対象に「在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議」を開催し、7月29日(月) 111名、11月5日(火) 110名、2月5日(水) 103名の参加者がありました。

- 2) 県下各地区医師会を対象に、5月に「在宅医療・介護連携推進事業の運営状況に係るアンケート調査」を行いました。また、7月より「在宅医療の提供と医療・介護連携に関する実態調査」、9月より「退院調整・入院病床確保における連携ルールに関する実態調査」を行いました。
- 3) 愛知県より小児在宅医療普及推進事業を受託し、小児在宅医療推進企画委員会において、医師、医療従事者を対象に医療的ケア児の治療に関する研修などを企画・立案し、医療的ケア児に対応できる人材を育成することで退院支援から生活の場における療養支援、急変時の対応など継続した小児在宅医療連携体制の構築を図るため、下記研修会を開催いたしました。

10月22日(火・祝)	あいち小児在宅医療実技講習会	参加者：80名
11月16日(土)	春日井・小牧小児在宅医療講習会	参加者：78名
12月14日(土)	西三河南部小児在宅医療講習会	参加者：70名

- 4) 在宅医療を受けていた小児の死亡例を評価・検討する場として、小児在宅医療推進企画委員会にワーキンググループを設置いたしました。予防可能な小児死亡を減らすことを目的として、8月に「愛知県内の在宅医療を受けていて死亡した小児に関する調査」を実施して、系統的な死因調査に努めました。

#### ・警察

- 1) 8月24日(土)にJRゲートタワーカンファレンスにおいて、医師、行政関係者、警察関係者等に対し、「警察業務に関する勉強会～死因究明等の推進に向けて～」を開催いたしました。名古屋大学医学部附属病院救急・内科系集中治療部部長沼口敦先生より「愛知県における小児死因究明、そしてチャイルド・デス・レビューへ」、高知県健康政策部健康対策課課長（前厚生労働省医政局医事課課長補佐）江崎治朗先生より「公衆衛生の観点からの死因究明について」と題してご講演いただき、109名の参加者がありました。
- 2) 愛知県医師会検視立会医の委嘱期間が令和元年8月31日(土)満了することに伴い、委嘱継

続及び新規委嘱希望の調査を行い、愛知県警察本部長に対し164名を推薦いたしました。  
令和2年3月末日の愛知県医師会検視立会医数は164名でした。

- 3) 10月26日(土)に愛知県医師会館において検視立会医に対し、検視医研修会を開催いたしました。愛知県警察本部刑事部捜査第一課検視官室長中尾九氏より「愛知県における検視・検案について」、愛知医科大学医学部法医学講座教授妹尾洋先生より「刑事事件の司法解剖について」と題してご講演いただき、62名の参加者がありました。

#### ・勤務医

勤務医の学術の向上、勤務環境の改善、福祉の増進、相互の連帯・親睦を図ること等を目的として勤務医部会を設置しており、会員勤務医の医師会諸活動への参加を促すとともに、医師会未加入の勤務医にも医師会活動全般をより深く理解していただき、医師会への入会を働きかけるよう様々な勤務医対策の検討を行っており、以下のとおり活動いたしました。

- 1) 隔月開催の定例幹事会において、働き方改革や新専門医制度等、勤務医が関わる問題について検討いたしました。
- 2) 広報活動としては、「愛知医報」の「勤務医部会だより」に、幹事会議事内容の報告や、幹事が交代で執筆したコラムを掲載いたしました。
- 3) 愛知県勤務医師生活協同組合と連携し、勤務医の福利厚生の上にも力を入れました。  
6月19日(水)には、愛知県勤務医師生活協同組合総会に先立ち、「医師の働き方改革について」と題して厚生労働省医政局医療経営支援課医療勤務環境改善推進室長安里賀奈子氏にご講演いただき、89名の参加者がありました。
- 4) 10月26日(土)には山形県で「全国医師会勤務医部会連絡協議会（テーマ:待ったなしの働き方改革～勤務医の立場から～）」が開催され、本部会から6名が出席いたしました。

#### ・自殺対策

- 1) うつ病の早期発見・早期治療による一層の自殺対策の推進を図るため、厚生労働省「かかりつけ医等心の健康対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、以下のとおり研修会を開催いたしました。

7月28日(日)	13:00～17:00	名鉄ニューグランドホテル	参加者:22名
8月25日(日)	13:00～17:00	ホテルグランドティアラ安城	参加者:15名
12月15日(日)	13:00～17:00	名鉄ニューグランドホテル	参加者:39名

- 2) アルコール依存症の早期発見・介入等を行い、一層のアルコール健康障害対策の推進を図ることを目的とし、「かかりつけ医等のアルコール依存症対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、以下のとおり研修会を開催いたしました。

12月11日(水)	14:00～16:00	デザインホール	参加者:33名
-----------	-------------	---------	---------

#### ・日医電子認証センター（日本医師会認証局）

医師資格証の受渡し業務として、本会にて2件実施いたしました。

3月末日で愛知県内の登録者数は349名（内愛知県医師会非会員10名）です。

・国民医療推進協議会（役員会、地域集会）

11月21日(木)に開催し、役員会21名、地域集会173名の参加者がありました。地域集会では、医療・介護の適切な財源の確保、医療等に係る消費税問題の抜本的な解決について決議し、愛知県議会へ意見書を提出いたしました。（別紙参照）

・日医かかりつけ医機能研修制度

- 1) 日医かかりつけ医機能研修制度2019年度応用研修会をテレビ会議にて5月26日(日)に開催し、愛知県医師会館及びリモート会議システムを導入している9地区医師会（一宮市、瀬戸旭、半田市、春日井市、尾北、豊橋市、岡崎市、碧南市、豊田加茂）にて、計392名の参加者がありました。
- 2) 平成29年度より本研修制度修了申請の受付を開始し、平成31年4月1日付にて60名を認定し、「日医かかりつけ医機能研修制度 認定証」を交付いたしました。
- 3) 令和元年10月より、本研修制度を修了し認定証を交付された方を、地域のかかりつけ医として活動し、研鑽を続けている医師であると広く県民に示すため、本会ホームページへ認定者名簿を掲載しております。

(8) 救急医療・災害医療対策

・災害・救急医療対策

- 1) 愛知県医師会無線システム並びに愛知県広域災害・救急医療情報システム、災害時優先携帯電話、衛星携帯電話の運用訓練を6月4日(火)、7月2日(火)、8月6日(火)、9月3日(火)、10月1日(火)、11月5日(火)、12月4日(水)、2月5日(水)、3月3日(火)に行い、無線機等の使用方法の確認と災害を想定した訓練を行いました。
- 2) 「小児救急に関する研修会」を以下のとおり開催し、参加者451名に修了証を交付いたしました。

6月7日(金) 中区役所ホール 参加者：313名

11月11日(月) 愛知県医師会館 参加者：138名

2月28日(金) 豊橋市保健所・保健センター

※2月28日(金)は新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を中止

- 3) 6月16日(日)に愛知県医師会館にて医師、医療従事者、消防関係者対象の災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会を開催し、参加者174名に修了証を交付いたしました。
- 4) 8月10日(土)に名古屋市医師会との共催によるBLS&AED講習会並びにターネケット（止血帯）講習会を名古屋市医師会館にて、12月14日(土)に本会主催によるBLS&AED講習会

を岡崎市医師会公衆衛生センターにて開催し、医師・医療従事者等を含め69名が参加し、修了証を交付いたしました。

- 5) 9月1日(日)に愛知県・豊橋市総合防災訓練に参加し、応急救護所の開設・運営、遺体の身元確認等の検案作業を行いました。また、昨年度に引き続き愛知県医師会の啓発活動を行いました。
- 6) 日本医師会、厚生労働省、総務省消防庁が作成した救急医療週間ポスター、CAB+Dカードの配付を行い、救急週間の啓発に努めました。また、9月9日(月)に愛知県医師会館にて愛知県救急医療推進大会を開催し、あいち小児保健医療総合センター副センター長兼総合診療科部長伊藤浩明先生より「ガイドラインに基づいたアナフィラキシーへの対応」、愛知県救急医療情報センター顧問・愛知医科大学名誉教授野口宏先生より「救急・災害医療提供体制に係る最近の動向」をテーマにご講演いただきました。さらに、日本救急蘇生普及協会の協力により、救急蘇生法講習・応急手当講習を行い、県民への救急医療に関する知識普及と医療関係者の意識の高揚を図り、延べ364名の参加者がありました。
- 7) 10月10日(木)に中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練、11月7日(木)に県営名古屋空港消火救難総合訓練に参加し、本会役職員の派遣、地区医師会から医療救護班を派遣いたしました。
- 8) 11月10日(日)に中部医師会連合令和元年度災害医療担当理事連絡協議会が開催され、中部医連災害医療担当理事等のメーリングリストを作成し、定期的に伝達訓練を行うこととなりました。
- 9) 11月17日(日)に愛知県医師会館にて医師を対象に愛知県医師会PTLS講習会を開催し、参加者23名に修了証を交付いたしました。
- 10) 11月24日(日)に医師等を対象とした愛知県災害医療コーディネート研修を愛知県・愛知医科大学との共催により愛知県医師会館にて開催し、保健所・災害拠点病院関係・県下医師会等から36名の参加者がありました。なお、2月24日(月・祝)に予定していたロジスティック要員対象の研修会は、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を中止しました。
- 11) 2月9日(日)に名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターにて愛知県医師会ICLS研修会を医師・看護師を対象に開催し、24名の参加者がありました。
- 12) 3月7日(土)に愛知県医師会館にて第38回救急医療・災害医療シンポジウム「愛知県の精神科救急医療の現状と課題－身体表現性障害患者及び自殺企図患者への対策－」の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を中止しました。

- 13) 3月8日(日)に開催が予定されていた「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2020」に救護スタッフとして医師11名を推薦いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、エリート部のみの開催となったことに伴い救護所設置も縮小され、当日の出務はありませんでした。
- 14) 「小学生のための救急蘇生法講習」を愛知県内の小学校6年生を対象として開催し、27校1,878名の児童が参加いたしました。
- 15) 災害時の安否確認を目的とした「AKKシステム（愛知県医師会緊急確認システム Safetylink24）」について、A会員を対象に登録促進を行うとともに、定期的に配信テストを実施いたしました。

・救急医療情報システム

救急患者実態調査、休日診療所における救急患者実態調査、急性期脳卒中に関するアンケート調査、熱傷入院患者取扱実績報告における調査、小児時間外救急の実態調査、愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査、気管支喘息発作に関するアンケート調査、急性心筋梗塞に関するアンケート調査、アナフィラキシーに関するアンケート調査を昨年に引き続き、実施いたしました。

(9) 地域保健の向上

・産業保健

- 1) 産業医学振興財団の委託事業である産業医研修事業について、産業医研修として、リフレッシュ研修、スキルアップ専門研修、スキルアップ実地研修を日本医師会認定産業医研修会として、産業医研修連絡協議会を本会産業保健部会幹事会として実施いたしました。また、地区医師会、関係団体等の行う日本医師会認定産業医研修会に共催いたしました。
- 2) 日本医師会認定産業医については、新規申請者171名及び更新申請者631名が認定を受けました。
- 3) 日本医師会産業保健委員会に委員として参加し、産業保健活動における制度改正等について、検討・協議いたしました。
- 4) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2月19日(水)より産業医研修会(座学)を中止いたしました。

・学校保健の推進

- 1) 学校保健部会幹事会・学校健診委員会において、学校医・園医報酬、県立高等学校並びに県下小中学校の心電図精度管理等について、検討・協議いたしました。
- 2) 愛知県教育委員会、愛知県学校保健会等の関係会議へ出席し、各種事項について検討・

協議いたしました。また、愛知県学校保健会の行事に参加いたしました。

- 3) 7月7日(日)に心電図精度管理調査解析検討会を開催し、健診機関、教育委員会から提出された心電図に関し、学校健診委員会の委員を中心に解析を行いました。
- 4) 日本医師会学校保健委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討・協議いたしました。
- 5) 11月23日(土)に第50回全国学校保健・学校医大会(さいたま市)が開催され、本会からも出席いたしました。メインテーマは「多様化する社会と子ども成長～これからの学校医の役割～」で、分科会にて学校健診委員会委員の後藤芳充先生が発表いたしました。
- 6) 3月17日(火)に令和2年度定期健康診断における精度管理説明会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、書面開催とし、令和2年度に愛知県立学校の健診を実施する10の健診機関を対象に、愛知県立学校腎臓検診・心臓検診に対して学校保健部会学校健診委員会が行う精度管理について説明いたしました。
- 7) 愛知県立学校の腎臓・心臓検診の精度管理を行い、学校保健健診懇談会にてフィードバックを行うことで、健診機関間の差異を平準化し、更なる精度向上により愛知県内において健診の質の維持、向上を目的として、1月18日(土)に第34回学校保健健診懇談会を開催し、126名の参加者がありました。
- 8) 学校におけるアレルギー対応の現状と課題をテーマに、専門かつ先進的に取り組んでいる先生を中心に説明していただき、情報の共有また問題解決のため、参加者で議論しながら必要な事項を修得する目的として、3月1日(日)に学校保健シンポジウムの開催を計画いたしましたが、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を中止しました。
- 9) 「学校医手帳」を昭和58年3月、平成3年4月、平成25年3月、発刊・改訂しておりましたが、前回の改訂より5年経過いたしましたので、改めて学校医の役割について検討すべく、学校保健部会幹事会を中心に企画・検討し、改訂作業を始めました。
- 10) 毎年、学校医の報酬実態調査を行い、調査結果を踏まえ、学校医の報酬に関して愛知県知事に要望書を提出していましたが、今年度は報酬だけではなく、学校医の待遇改善に関する要望書も提出いたしました。

・母体保護法指定医師の指定

- 1) 母体保護法指定医師審査委員会において59名を母体保護法指定医師として指定いたしました。新規指定医師等に対しては、指導講習会を実施しております。3月末日における母体保護法指定医師は495名です。
- 2) 母体保護法指定医師に対し、母体保護法指定医師講習会を開催しており、シルバーカード講習会については、9月14日(土) 120名、11月2日(土) 128名、ゴールドカード講習会については、7月20日(土) 285名、8月17日(土) 190名の参加者がありました。

(10) 医療保険・介護保険の充実

(医療保険関連)

・社会保険

- 1) 社保指導委員会では、指導・監査に係る講評等を行うとともに、社会保険等の適切な運用に向けて協議・検討を行いました。
- 2) 保険診療の質的向上及び適正化を図るため、保険医療機関に対する指導監査の立会いを実施いたしました。
- 3) 9月22日(日)に「中部医師会連合社会保険特別委員会」が開催され、各県の指導監査実施状況及び保険医療機関・保険医の指定取消状況、次期診療報酬改定に係る進捗等について協議・報告、意見交換が行われました。
- 4) 前年度に引き続き、A会員（平成30年5月末現在）を対象とした「社保集団指導講習会並びに医療安全説明会」を3回（4月4日(木)、5月8日(木)、6月6日(木)、欠席者を対象に1回（10月3日(木)）開催いたしました。
- 5) 10月9日(水)、10日(木)に「平成31（令和元）年度新規指定・指定更新時集団指導」を東海北陸厚生局、愛知県との共催で開催いたしました。  
なお、2月27日(木)につきましては、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を延期しました。
- 6) 3月20日(金・祝)、25日(水)、28日(土)、29日(日)に「令和2年度診療報酬改定に伴う集団指導」を東海北陸厚生局、愛知県との共催で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を中止しました。

(介護保険関連)

・介護保険

- 1) 地域医療介護委員会では地域包括ケア、介護保険、高齢者福祉、障害者福祉等に係る関連事業の検討、各地域の諸問題に関する情報交換を行い、地区医師会及び行政との連携体制の強化を図りました。
- 2) 8月18日(日)、9月29日(日)に「中部医師会連合地域包括ケア特別委員会」が開催され、介護医療院の各県の設置状況と課題、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する各県の現状、在宅における多職種連携についての現状と課題、地域リハビリテーションの現状と課題、地域包括ケアに関する諸問題、令和3年度介護報酬改定への要望などについて情報収集および意見交換が行われました。
- 3) 8月25日(日)に日本医師会主催「地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会」が開催され、本会館及び名古屋市医師会館でテレビ会議システムを通じて中継映像にて開催しました。また、9地区医師会（一宮市、瀬戸旭、半田市、春日井市、尾

北、豊橋市、岡崎市、碧南市、豊田加茂)にてリモート会議システムによる配信を行い、計622名の参加者がありました。

- 4) 2月1日(土)に「保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム(テーマ:みんなで繋ぐ地域リハビリテーション)」を開催し、171名の参加者がありました。

・認知症対策

- 1) 認知症地域医療研修検討委員会では、認知症の容態に応じた適切な医療の提供が可能となる支援体制を構築するための研修について検討いたしました。
- 2) 認知症疾患医療センター事業評価検討ワーキンググループでは、愛知県が認可する認知症疾患医療センターに対して行う事業評価の内容について検討を行いました。各センターの現状や課題を把握するために、ワーキンググループ委員によるヒアリングを実施し、ヒアリングの結果と各センターより提出された自己評価を基に委員による第三者評価を行い、その結果を各センターへ通知いたしました。
- 3) 病院に勤務する医師、看護師、薬剤師、リハビリ職種を始めとした多職種の医療従事者に対し、「医療従事者の認知症対応力向上研修」を開催し、8月3日(土)94名、9月21日(土)95名、2月1日(土)71名、計260名の参加者がありました。
- 4) 愛知県下で開業又は勤務する医師(名古屋市医師会を除く会員)に対し、「かかりつけ医認知症対応力向上研修」を開催し、11月2日(土)76名、11月30日(土)40名、計116名の参加者がありました。
- 5) 認知症サポート医、認知症疾患医療センターの担当者(医師)に対し、2月8日(土)に「認知症サポート医フォローアップ研修及び認知症疾患医療センター地域連携担当者向け研修会」を開催し、77名の参加者がありました。
- 6) 認知症対応病院実地指導への参加病院に対し、3月12日(木)に「認知症対応病院実地指導活動報告会」の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を中止しました。なお、参加予定者へ資料の送付をもちまして、対応いたしました。
- 7) 認知症疾患医療センターに対し、3月16日(月)に「愛知県認知症疾患医療連携協議会」の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を中止しました。なお、参加予定者へ資料の送付をもちまして、対応いたしました。

(11) 医療安全対策の推進

・医療事故・医事紛争対策

- 1) 医療事故・医事紛争対策については、医療過誤の未然防止、医事紛争処理、医療賠償等の観点から、医療安全対策委員会において種々検討いたしました。さらに、実効性のあ

る医事紛争解決と医療安全のあり方、医療事故調査制度について、医療安全対策小委員会で検討いたしました。

- 2) 6月21日(金)、10月18日(金)に愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会を開催するための、愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会幹事会を開催し、医療事故調査制度に関する情報交換、支援団体の支援内容等について報告・協議いたしました。
- 3) 日本医師会「医師賠償責任保険」の関係では、17件を日本医師会へ付託いたしました。また「日医医賠責特約保険」の加入者は、3月末日現在で1,836名になりました。
- 4) 医療事故調査制度相談窓口への相談・支援依頼は相談が1件、支援依頼が8件ありました。
- 5) 平成30年度より「医療事故調査制度における愛知県医師会Aiシステム」の運営を開始し、愛知県下27医療機関のご協力をいただきながら運営を続けております。
- 6) 平成30年度より「単独で院内事故調査委員会を開催することが困難な医療機関支援システム」の運営を開始し、藤田医科大学病院と愛知医科大学病院のご協力をいただきながら運営を続けております。
- 7) 11月13日(水)に栄ガスホールにおいて、医療従事者向けの医療事故調査制度に関する研修会を愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会主催で開催いたしました。「院内調査委員会における死因の検証・分析」をテーマに日本医師会医療安全対策委員会 副委員長上野道雄先生に、「調査分析、報告書の書き方」をテーマに山王メディカルセンター血管病センター長宮田哲郎先生にご講演いただき、86名の参加者がありました。
- 8) 2月6日(木)にミッドランドホールにおいて、医療従事者向けの医療事故調査制度に関する研修会を愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会主催で開催いたしました。「予期せぬ死亡事故はどの医療機関でも生じうるもの～報告は義務。記載方法は重要なポイント。～」をテーマに同協議会構成員・後藤・太田・立岡法律事務所太田成弁護士にご講演いただき、180名の参加者がありました。

・医療安全支援センター（苦情相談センター）

- 1) 平成31年4月～令和2年3月の相談受付件数は新規・継続ケースを合わせて1,613件となりました。相談窓口業務及び対応を相談員（看護師、医療ソーシャルワーカー）が担い、医療に関わる専門的な対応については、担当理事及び医療安全支援センター（苦情相談センター）委員会の専門委員（医師）によって適切に行われました。
- 2) 5月25日(土)に名古屋市立大学桜山（川澄）キャンパスさくら講堂において、令和元年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第1回講演会を開催いたしました。「医療安全の新時代を前にして～私たちの働き方と考え方」をテーマに、一般財団法人東光会七条診療所所長・佐賀大学名誉教授小泉俊三先生にご講演いただき、215名の参加者がありました。

- 3) 7月5日(金)に開催された、令和元年度愛知県等医療安全支援センター担当者連絡会議に参加し、関係機関との情報交換を行いました。
  - 4) 7月27日(土)に名古屋工業大学NITechHallにおいて、令和元年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第2回講演会を開催いたしました。「現場実践に活かす「安全管理」と「臨床倫理」の考え方ー倫理的な医療と、安全・安心な医療の提供ー」をテーマに、宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科生命・医療倫理学分野教授、同大学医学部附属病院中央診療部門臨床倫理部部長板井孝壺郎先生にご講演いただき、261名の参加者がありました。
  - 5) 9月14日(土)に中区役所ホールにおいて、令和元年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第1回事例検討会を開催し、294名の参加者がありました。
  - 6) 11月16日(土)に名古屋市立大学桜山(川澄)キャンパスさくら講堂において、令和元年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第2回事例検討会を開催し、139名の参加者がありました。
  - 7) 12月7日(土)に愛知県医師会館9階大講堂において、令和元年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第3回講演会を開催いたしました。「小規模医療施設における医療安全ーヒューマンエラーをどう捉えるかー」をテーマに、三重県津地区医師会前会長、三重耳鼻咽喉科名誉院長莊司邦夫先生にご講演いただき、231名の参加者がありました。
  - 8) 1月29日(水)に愛知県三の丸庁舎で開催された「令和元年度愛知県医療安全推進協議会」に参加いたしました。
  - 9) 『愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会・講演会報告集2019』を作成し、会員始め関係機関へ配付いたしました。
  - 10) 県民向け小冊子「これってどうなの?Ⅱ」を作成し、会員を始め関係機関に配付いたしました。
  - 11) 2月25日(火)に開催予定であった第11回医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会は、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を中止といたしました。
- ・医療安全対策
- 1) 平成22年度より医療安全対策の一環として運営している愛知県医師会剖検システムは、愛知県下四大学病院の病理部門のご協力をいただき、順調な運営を続けております。
  - 2) 12月14日(土)に愛知県医師会館9階大講堂において、県民向けの医療安全に関する講演会を開催いたしました。「幼稚園・保育所・小学校の感染症対策～麻しん、風しん対策は今、大人が中心です～」をテーマに、国立感染症研究所感染症疫学センター室長多屋馨子先生にご講演いただき、74名の参加者がありました。

- 3) 2月15日(土)に名古屋東急ホテルにおいて、医療安全対策委員会委員、本会役員向けの医療安全対策委員会勉強会を開催いたしました。「医療事故調査制度とは何か－医師法21条と医療事故調査制度の理解－」をテーマに、医療法人尚愛会小田原病院理事長小田原良治先生にご講演いただき、58名の参加者がありました。

(12) 医療施設の整備

・共同利用施設

9月7日(土)・8日(日)にHotel&Resorts ISE-SHIMA(三重県)にて開催されました「第28回全国医師会共同利用施設総会」に参加し、各都道府県の共同利用施設の現状把握に努めました。また、11月3日(日・祝)に富山国際会議場(富山県)にて開催されました「2019年度中部医師会連合共同利用施設連絡協議会」に参加し、中部各県の共同利用施設の現状や課題について報告、意見交換を行いました。なお、2月26日(水)に共同施設委員会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を中止しました。

・臨床検査精度管理

県下における臨床検査施設の実態把握と精度向上を図る目的で、直送方式の精度管理調査(免疫学(血清学)・血液学・病理学・生化学・尿)を実施いたしました。また、例年同様、2月18日(火)に愛知県医師会館にて精度管理研修会を企画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、開催を中止としたため、参加予定者へ資料の送付をもちまして、対応いたしました。

(13) 会員の福祉の向上

・労働保険事務組合

委託事業所数は79件(3月31日現在)であり、前年度から4件の減少がありました。事務手続きは社会保険労務士事務所へ委託しており、手続き件数は取得74件、喪失74件でした。

・生命保険団体取扱い

生命保険団体取扱事務の現状は、現在7社、契約人数517名、契約件数762件であり、月掛取扱保険料は、50,180,641円でした。(別表6参照)

・会員相談窓口

令和元年度の一般相談件数は70件あり、診療報酬に関する相談は139件でありました。相談の対応については、担当理事を始め、専門家の見解を得て、適切に行っております。

・事業概要等説明会

- 1) 平成30年8月～平成31年4月入会の新入会員を対象に、7月10日(水)に開催いたしました。

内容としては、「医師会の機構と事業」「保険診療上の留意点」「地域包括ケア・在宅医療」「苦情相談、会員相談窓口、医療安全」について、それぞれ説明を行い、117名の参加者がありました。

- 2) 令和元年5月～11月入会の新入会員を対象に、2月6日(木)に開催いたしました。内容としては、「医師会の機構と事業」「保険診療上の留意点」「地域包括ケア・在宅医療」「苦情相談、会員相談窓口、医療安全」について、それぞれ説明を行い、85名の参加者がありました。

#### (14) 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動

(渉 外)

##### ・中部医師会連合

中部医師会連合の事業年度は規約により、7月1日～翌年6月30日までの1年間であるため、平成31年4月～令和元年6月は前年度に引き続いて愛知県が、7月からは富山県が主務担当となりました。今年度は常任委員会13回、常任委員会懇談会が2回開催されました。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、3月29日(日)開催の第146回日本医師会臨時代議員会が中止となったため、3月4日(水)開催の日医代議員協議会も中止となり、今年度の日医代議員協議会は1回の開催となりました。社会保険特別委員会は1回、地域包括ケア特別委員会、医師確保対策特別委員会は各2回、いずれも名古屋市内で開催されました。11月9日(土)・10(日)に富山県で委員総会が開催され、決算・予算等の承認が行われ、特別委員会報告では、協議、検討内容について各委員長より報告されました。また、事務局長連絡協議会は2回開催されました。次年度主務県は岐阜県となります。

##### ・関西医師会連合

今年度の主務担当県は福井県で、8月3日(土)に京都市において関西医師会連合常任委員会が開催されました。次年度主務担当県は奈良県になりました。

(IT化対策)

##### ・ホームページ・IT化対策

- 1) リモート会議について、9地区医師会（一宮市、瀬戸旭、半田市、春日井市、尾北、豊橋市、岡崎市、碧南市、豊田加茂）と本会との間で相互通信テスト、日本医師会遠隔会議システムの再中継、研修会の実地運用・委員会のリモート開催等、実施いたしました。ホームページ・IT化対策委員会では、リモート会議システムを利用して委員会を運用し、今後の課題等について議論を行いました。
- 2) 会員への情報提供を迅速に行うため、ホームページ及び愛医通信を運用し、内容の充実に努めました。

(広 報)

・広 報

医師会活動等を報告する本会機関誌「愛知医報」を毎月2回（1日・15日）発行いたしました。掲載内容・構成については広報委員会において検討・決定いたしました。

・ 対外広報

8月29日(木)・12月12日(木)に報道関係者との懇談会を開催し、医療問題等について積極的に話し合いを行いました。(別表7参照)

(15) 医師・医療関係従事者対策

(勤務環境改善支援)

・労働時間等説明会

- 1) 改正労働基本法等の内容を含む労働時間に関する法制度等の周知、理解の促進のため、愛知労働局、愛知県（愛知県医療勤務環境改善センター）との共催で、医療機関の管理者及び人事・労務管理を担当されている職員を対象に、「労働時間等説明会」を以下のとおり開催いたしました。

9月19日(木) 愛知県医師会館 参加者：96名

10月18日(金) 昭和ビル 参加者：86名

10月25日(金) 一宮市医師会館 参加者：52名

11月13日(水) 豊橋市保健所 参加者：59名

11月14日(木) 昭和ビル 参加者：75名

11月20日(水) 岡崎市医師会公衆衛生センター 参加者：44名

- 2) 10月9日(水)に栄ガスホールにおいて「勤務環境の整備に関する講習会」を開催いたしました。愛知県医師会の市川朝洋副会長、森本社会保険労務士事務所の森本智恵子氏にご講演いただき、医師、医療従事者含め89名の参加者がありました。

・医療勤務環境改善支援センター

「令和2年度愛知県医療勤務環境改善支援センター運営事業（委託事業）」に応募したところ、3月18日(水)付にて企画提案が採用されました。

(医師確保対策事業の推進)

・医師確保

- 1) 事務局内に愛知県医師会地域医療人材育成センター（ドクターバンク）窓口を開設し、医師の職業紹介事業を行っており、愛知県地域医療支援センター（内海眞センター長）と連携して対応しております。愛知医報並びにホームページにてドクターバンクに登録のある求人医療機関の情報発信を行い、求職医師に最新情報を随時提供できるよう努め

ております。専従職員による、夜間対応や医療機関への訪問等、求人機関、求職者の希望に柔軟に対応いたしました。令和元年度の紹介件数は37件で、採用件数は13件でありました。

- 2) ドクターバンク新システムを12月にオープンリリースし、求人・求職における要望の増加・多様化への対応および保守性の向上等、運用改善を図りました。

#### ・男女共同参画

- 1) 近年、医療現場で働く女性医師数の増加が著しく、女性の活躍の場が増えている一方で、医師としてのキャリア形成と家事・育児との両立を始めとする数多くの問題があります。昨今の医師不足の中、これからも増加していくであろう女性医師や女子医学生の活用は必要不可欠なことと考え、多くの諸問題に注視し、共同参画の実現に向け、男女それぞれの役割等、広い視野を持って取り組みました。
- 2) 日本医師会から依頼を受け、女性医師支援、特に女性医師のキャリア形成・継続の支援を目的に、医学生や研修医等、若い世代の女性医師を対象とした講演会を企画し、11月5日(火)に愛知医科大学において「医学生、研修医等をサポートするための会」を開催し、63名の参加者がありました。

#### ・若手医師対策

5月25日(土)にANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋にて、臨床研修指定病院の病院長、指導医、研修医の先生方を対象として、名古屋市医師会との共催で「愛知県医師会・名古屋市医師会 新研修医並びに指導医ウェルカムパーティ」を開催し、東海北陸厚生局の堀江裕局長より「初期臨床研修医に必須の保険診療の知識」と題してご講演いただきました。医師会関係者を含め166名の参加者がありました。

#### ・臨床研修医の入会促進

平成29年度より、臨床研修医が入会することができるよう定款等の規程の整備を行い、引き続き臨床研修指定病院へ訪問し、臨床研修医の入会について説明及び依頼いたしました。

3月末現在で467名(うち、新たに272名)の先生方にC会員としてご入会いただきました。

#### (医療従事者対策)

#### ・医療従事者対策

- 1) 事務局内に愛知県医師会医療従事者関係無料職業紹介所を開設し、医療従事者の職業紹介事業を行っておりましたが、令和元年10月をもって事業を廃止いたしました。また、事業廃止に伴い、厚生労働省(愛知労働局)へ無料職業紹介事業許可証を返却いたしました。
- 2) 医療関連職検討委員会において、各看護学校より入学・卒業、准看護師資格取得状況等が報告され、問題点等を検討いたしました。また、愛知県下にて准看護師養成所の学生

募集が円滑に行えるよう検討いたしました。

- 3) 医療事務員講習会を9～11月に開催し、全15日間、30講座を行いました。12月には資格認定試験を行い、81名が合格いたしました。

#### 〈医療秘書学院〉

- 1) 平成27年度よりあいちビジネス専門学校(全日制)「医療秘書科」へ運営を委託しており、令和元年度より同校「診療情報管理士科」へ追加委託をいたしました。令和元年度は医療秘書科61名、診療情報管理士科32名、合計93名が入学いたしました。
- 2) 10月31日(木)にあいちビジネス専門学校にて、第23回医療保険請求事務実技試験が行われ、33名が合格いたしました。
- 3) 2月2日(日)にあいちビジネス専門学校にて、第40回日本医師会医療秘書認定試験が行われ、61名が合格いたしました。
- 4) 3月10日(火)にANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋にて、あいちビジネス専門学校の卒業式が予定されておりましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小して卒業証書授与式が行われ、77名が卒業いたしました。

#### (16) 会務運営・総務・財務

##### ・会館整備

- 1) 7月、8月及び2月に消防点検を実施し、非常放送や火災感知器等の消火設備の動作確認を行いました。また、定期点検も各法に基づいて適正に実施いたしました。
- 2) 防火対策並びに防災対策について協議し、「公益社団法人愛知県医師会消防計画」を策定いたしました。
- 3) 1月～2月にかけて老朽化により破損した地下健康教育講堂の天井裏にある污水管および雑排水管の取り替え工事を行いました。これに併せて天井の貼り替えも行いました。

##### ・会館運営

日常における法定清掃を適正に行い、会館の維持管理に努めました。また、会館管理規程に則り、適正な会館運営をいたしました。〈別表8参照〉

##### ・定款諸規程

12月13日(金)に定款諸規程等検討委員会を開催し、公益社団法人愛知県医師会選挙規則第7章第51条(定数の割当て)について協議いたしました。本会の会員数が1万人を超えたことに伴い、会員500名につき1名選出される日本医師会代議員及び予備代議員の定数を現行の20名から21名に変更すること、また増員となった1枠を各団体(大学医師会、愛知県病院協会、日本女医会愛知県支部)に割当てることが承認されました。12月19日(木)開催の

第28回（定例）理事会を経て第185回（臨時）代議員会へ上程し、承認され令和2年3月21日より施行となりました。

(17) その他

・倫理委員会

審査申請が1件あり、書類審査をいたしました。

また、第36回（定例）理事会（令和2年2月27日(木)開催）において承認を得ました。

・第30回日本医学会総会2019中部

- 1) 4月27日(土)～29日(月・祝)に名古屋市で開催された第30回日本医学会総会2019中部の事前参加登録について、昨年から本会役員より、各地区医師会役員に直接電話するなど、積極的に参加登録の呼びかけをしてまいりました。その結果、目標登録数4,070名を大幅に超え、4,768名の事前参加登録をしていただきました。
- 2) 第30回日本医学会総会とは別に、愛知県医師会会員でかつ、医学会総会の事前参加登録をしていただいた先生方を対象に、4月27日(土)～29日(月・祝)の3日間、愛知県医師会館において産業医研修会を実施いたしました。合計2,483名の先生方にご参加いただきました。
- 3) 4月27日(土)には医学会総会に参加した先生方と親睦を深めるため、日本医師会・愛知県医師会共催懇親会を名古屋東急ホテルで開催し、全国より約400名の先生方にご参加いただきました。当日は横倉日本医師会長、柵木愛知県医師会長にご挨拶いただき、来賓として齋藤医学会総会会頭、門田日本医学会会長、羽生田参議院議員、自見参議院議員からご挨拶賜りました。また、愛知県医師会交響楽団に演奏いただき、懇親会に華を添え、盛会裏に終えることができました。
- 4) 本会が主務を担当するソーシャルイベントでは、4月7日(日)の卓球大会を始め、4月27日(土)に将棋、アマチュア無線、4月28日(日)にラグビー、ゴルフ、囲碁、4月29日(月・祝)にテニス、5月12日(日)に柔道大会が行われ、合計8種目を開催いたしました。
- 5) 愛知医報第2100号（令和元年8月15日発行）にて第30回日本医学会総会について、事前参加登録への本会の取り組みや本会主催の産業医研修会の取り組み、日本医師会・愛知県医師会共催懇親会の様子、ソーシャルイベントの実施状況等について報告いたしました。

・地域医療体制強化のための備品の整備

救急・災害医療対策及び健康教育のための県民啓発など地域医療の推進を図るため、本会に衛星携帯電話2台、特殊LED投光器2台、ポータブル発電機5台を整備しました。また、県下郡市区医師会におきましても、①発電機2台、②発電機と蓄電池各1台、③プロジェクターとスクリーン各1台、④AED1台のうち希望するものを令和2年3月末までに整備しました。

## 会 員 数 〈別表1〉

令和2年3月31日現在の本会会員数は10,082名で県下医師会別は下表の通りであります。

区 分	会 員 数
名古屋 市	3,864
一宮 市	654
瀬戸 旭 市	258
半田 市	141
春日井 市	336
津島 市	89
小牧 市	119
東海 市	110
岩倉 市	53
東名古屋 市	241
西名古屋 市	170
尾北 市	270
稲沢 市	132
海部 部	268
知多 郡	296
豊橋 市	520
岡崎 市	465
豊川 市	184
碧南 市	54
刈谷 市	309
豊田加茂 市	532
蒲郡 市	79
安城 市	227
西尾 市	122
北設楽 郡	6
新城 市	41
田原 市	50
名古屋大学	155
名古屋市立大学	115
藤田医科大学	83
愛知医科大学	139
合 計	10,082

物故会員〈別表2〉

(平成31年4月～令和2年3月届出分)

氏名	年齢	地区	死亡年月日
北村 司 様	92 歳	名古屋市	H30.6.19
田中 清隆 様	84 歳	名古屋市	H30.11.22
近藤 豊 様	86 歳	一宮市	H31.2.25
加藤 功 様	93 歳	名古屋市	H31.3.4
森田 豊 様	54 歳	名古屋市	H31.3.5
加藤 みゆき 様	91 歳	名古屋市	H31.3.19
坂部 勇 様	93 歳	碧南市	H31.3.29
増井 豊 様	92 歳	名古屋市	H31.3.29
藤田 静代 様	93 歳	豊橋市	H31.3.30
北 昭仁 様	70 歳	春日井市	H31.4.1
久保田 甲司 様	95 歳	豊田加茂	H31.4.9
熊澤 平次 様	66 歳	一宮市	H31.4.10
松崎 一郎 様	93 歳	名古屋市	H31.4.22
白井 俊彦 様	93 歳	知多郡	H31.4.27
平光 精二 様	93 歳	名古屋市	R1.5.2
粕谷 守正 様	83 歳	名古屋市	R1.5.3
篠崎 修 様	88 歳	豊橋市	R1.5.7
森川 喜充 様	65 歳	東海市	R1.5.10
吉田 和久 様	91 歳	一宮市	R1.5.14
柳原 喬 様	72 歳	知多郡	R1.6.6
柏田 直俊 様	84 歳	名古屋市	R1.6.7
新井 豊久 様	88 歳	一宮市	R1.6.10
新海 眞行 様	83 歳	半田市	R1.6.11
山中 寛三 様	100 歳	碧南市	R1.6.18
加藤 恭子 様	92 歳	名古屋市	R1.6.20
平野 潤三 様	92 歳	安城市	R1.6.30
川口 俊介 様	78 歳	名古屋市	R1.7.7
佐藤 昌伸 様	92 歳	名古屋市	R1.7.8
鈴木 鏠三郎 様	90 歳	名古屋市	R1.7.9

川 脇 史 郎 様	91 歳	名 古 屋 市	R 1 . 7 . 9
大 倉 國 利 様	72 歳	名 古 屋 市	R 1 . 7 . 10
松 本 忠 雄 様	95 歳	尾 北	R 1 . 7 . 11
加 藤 陽 一 郎 様	78 歳	瀬 戸 旭	R 1 . 7 . 12
田 中 淳 一 様	86 歳	名 古 屋 市	R 1 . 7 . 17
日 比 英 世 様	95 歳	名 古 屋 市	R 1 . 7 . 27
小 池 勉 様	89 歳	名 古 屋 市	R 1 . 7 . 29
長谷川 明 男 様	92 歳	岡 崎 市	R 1 . 8 . 3
矢 崎 雄 彦 様	89 歳	名 古 屋 市	R 1 . 8 . 4
岡 田 次 雄 様	89 歳	知 多 郡	R 1 . 8 . 16
橋 川 ふ さ 子 様	92 歳	名 古 屋 市	R 1 . 8 . 23
高御堂 正 男 様	85 歳	一 宮 市	R 1 . 9 . 3
五 味 道 子 様	88 歳	春 日 井 市	R 1 . 9 . 12
大 澤 寛 様	96 歳	名 古 屋 市	R 1 . 9 . 14
松 原 幹 彦 様	90 歳	一 宮 市	R 1 . 9 . 16
日 比 範 夫 様	71 歳	名 古 屋 市	R 1 . 9 . 17
佐 野 泰 史 様	66 歳	岡 崎 市	R 1 . 9 . 18
柳 瀬 正 之 様	86 歳	尾 北	R 1 . 10 . 4
安 井 孝 様	92 歳	名 古 屋 市	R 1 . 10 . 6
坂 田 六 郎 様	86 歳	瀬 戸 旭	R 1 . 10 . 10
山 路 兼 生 様	86 歳	名 古 屋 市	R 1 . 10 . 18
高 田 秀 夫 様	83 歳	名 古 屋 市	R 1 . 10 . 20
北 村 楨 子 様	78 歳	名 古 屋 市	R 1 . 11 . 1
伊 藤 英 雄 様	87 歳	名 古 屋 市	R 1 . 11 . 3
山 田 源 信 様	90 歳	名 古 屋 市	R 1 . 11 . 9
窪 田 泰 和 様	87 歳	豊 田 加 茂	R 1 . 11 . 14
小 栗 剛 様	85 歳	名 古 屋 市	R 1 . 11 . 14
板 谷 知 己 様	65 歳	海 部	R 1 . 11 . 16
前 原 利 仁 様	89 歳	東 名 古 屋	R 1 . 11 . 21
堀 尾 和 子 様	90 歳	名 古 屋 市	R 1 . 11 . 23
鈴 木 万 里 子 様	69 歳	名 古 屋 市	R 1 . 11 . 23
中 西 浩 様	68 歳	豊 橋 市	R 1 . 12 . 5

佐藤好永様	80歳	尾北	R1.12.8
福原剛三様	93歳	蒲郡市	R1.12.17
星野光金様	82歳	岡崎市	R1.12.18
中山勉様	89歳	西名古屋	R1.12.23
丘博文様	73歳	西名古屋	R1.12.24
松下豊太郎様	92歳	岡崎市	R1.12.25
鈴木賢治様	61歳	名古屋	R1.12.30
桜井春彦様	57歳	知多郡	R2.1.3
阿部徹哉様	99歳	名古屋	R2.1.5
加藤英子様	96歳	名古屋	R2.1.6
牧野政子様	84歳	豊川市	R2.1.10
今泉昌明様	87歳	豊川市	R2.1.11
須知仁様	94歳	知多郡	R2.1.16
後藤典様	72歳	一宮市	R2.1.20
服部碩知様	86歳	瀬戸旭	R2.1.24
松本博様	69歳	安城市	R2.1.24
金森清信様	90歳	一宮市	R2.2.1
田代和彦様	84歳	東名古屋	R2.2.4
生田宏次様	66歳	岡崎市	R2.2.5
川瀬治實様	96歳	春日井市	R2.2.14
木村望様	86歳	豊橋市	R2.2.14
榎山嘉樹様	56歳	半田市	R2.2.21

以上83名

日本医師会生涯教育講座〈別表3〉

【産婦人科】	
日 時	令和元年 8 月17日(土)14：30～17：00
会 場	愛知県医師会館 9 階大講堂
共 催	愛知県産婦人科医会
司 会	名古屋市立東部医療センター副院長 村上 勇
演題 1	母体保護法の趣旨と適正な運用について
講 師	愛知県産婦人科医会理事 産科婦人科上野レディースクリニック理事長 上野 直樹
座 長	愛知県産婦人科医会副会長 生田 克夫
演題 2	NIPTの現状と今後
講 師	愛知県産婦人科医会理事 名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科病院教授 鈴木 伸宏
座 長	愛知県産婦人科医会理事 関谷 隆夫
演題 3	増加してきたART妊娠への対策
講 師	三重大学大学院医学系研究科産科婦人科学教授 池田 智明
参加者190名	

【外科】	
日 時	令和元年 8 月22日(木)14：00～16：00
会 場	愛知県医師会館 8 階802～804会議室
共 催	愛知県外科医会
テーマ	胃がん
司 会	愛知県外科医会生涯教育委員会委員長 錦見 尚道
座 長	愛知県外科医会副会長 山内 晶司
演題 1	胃がんの内視鏡診療
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座消化器内科学分野教授 藤城 光弘
座 長	愛知県外科医会副会長 細野 二郎
演題 2	上部消化管 悪性疾患に対する低侵襲手術の最前線
講 師	藤田医科大学医学部総合消化器外科学主任教授 宇山 一郎
参加者47名	

【眼科】	
期 日	令和元年 8 月 31 日(土)15：00～18：00
会 場	愛知県医師会館 9 階大講堂
共 催	愛知県眼科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 加地 秀
演題 1	高機能（トーリック・多焦点）眼内レンズの適応と実際
講 師	眼科杉田病院院長 杉田 威一郎
演題 2	眼底マルチモダルイメージングの実際 ：OCT angiographyと眼底自発蛍光を中心に
講 師	群馬大学大学院医学系研究科脳神経病態制御学眼科学分野教授 秋山 英雄
情報提供	ドライビングシュミレータについて
講 師	東北大学病院眼科非常勤講師 国松 志保
参加者172名	

【内科】	
日 時	令和元年 9 月 7 日(土)14：00～17：00
会 場	愛知県医師会館 9 階大講堂
共 催	愛知県内科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員長 安藤 忠夫
演題 1	新時代を迎えた糖尿病治療－心腎保護の観点から
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科先進循環器治療学寄附講座教授 柴田 玲
演題 2	がんと免疫－がん免疫療法の進展－
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科分子細胞免疫学講師 伊藤 佐知子
演題 3	長引く咳の診断と治療 －咳嗽・喀痰の診療ガイドライン2019の紹介を含めて－
講 師	名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学教授 新実 彰男
参加者58名	

【耳鼻咽喉科】	
日 時	令和元年10月19日(土)16：00～18：00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県耳鼻咽喉科医会
司 会	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 浅田 貴康
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 渡邊 暢浩
演題1	いざに備える日々の安全管理
講 師	春日井市民病院統括顧問 渡邊 有三
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 浅田 貴康
演題2	誰でもわかる楽しい睡眠学—日常診療に活かす眠りの知識
講 師	中部大学生命健康科学研究所特任教授 宮崎 総一郎
参加者119名	

【泌尿器科】	
日 時	令和元年10月19日(土)16：30～18：45
会 場	TKPガーデンシティPREMIUM名古屋ルーセントタワー 16階N+O会議室
共 催	愛知県泌尿器科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 小島 宗門
演題1	ガイドライン改訂のポイント～腎癌を中心に～
講 師	愛知医科大学医学部泌尿器科学講座准教授 中村 小源太
演題2	ガイドライン改訂と保険適用への課題～尿路結石を中心に～
講 師	名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野教授 安井 孝周
参加者64名	

【精神科】	
日 時	令和元年10月31日(木)14：00～15：30
会 場	愛知県医師会館 5階医師連盟会議室
共 催	愛知県精神科医会・愛知県精神科病院協会・愛知精神神経科診療所協会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 村瀬 聡美
演 題	児童精神科医として、震災支援を通じて考えたこと ・・・生きづらい子どもの心を支える
講 師	医療法人 大高クリニック院長 大高 一則
参加者7名	

【小児科】	
日 時	令和元年12月1日(日)14：30～17：00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県小児科医会
司 会	愛知県小児科医会研修委員会委員 伊藤 浩明
演題1	瀬川病・睡眠・レット症候群・チック～瀬川昌也先生から学んだこと～
講 師	医療法人社団昌仁醫修会 瀬川記念小児神経学クリニック理事長 星野 恭子
演題2	外来診療における感染対策とリスク管理
講 師	広島大学病院感染症科教授 大毛 宏喜
参加者92名	

愛知県医師会健康教育講座〈別表4〉

回数	開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
※871	5月18日	気になるけれど 人に聞けないおしっこの話	名古屋第一赤十字病院 女性泌尿器科 部 長 加 藤 久美子 JA愛知厚生連海南病院 院長補佐兼医療情報部長 兼泌尿器科代表部長 窪 田 裕 樹	150
872	5月20日	子供の肘を守ろう！ ～そのために何をなすべきか？～	名古屋スポーツクリニック 院 長 杉 本 勝 正	37
873	5月23日	骨盤臓器脱： ひとりで悩んでいませんか？ 尿が出にくい、陰部の不快感	名鉄病院 泌尿器科 部 長 荒 木 英 盛	131
※874	6月9日	「CKDって何？」 「CKD予防のための日常生活」 「CKDと食事について」	愛知医科大学 内科学講座 准教授 森 田 博 之 たけるクリニック 院 長 酒 井 尊 之 豊川市民病院 栄養管理科 管理栄養士 亀 山 幸 雄	118
875	6月13日	皮膚疾患最新の治療	藤田医科大学 皮膚科 教 授 杉 浦 一 充	183
※876	6月22日	認知症フレンドリー社会	NPO法人認知症フレンドシッ プクラブ理事 (株)DFCパートナーズ代表取締役 徳 田 雄 人	157

877	7月3日	LGBT性の多様性を考える ～性はゆるやかなグラデーション～	すぎやまレディスクリニック 院長 杉山正子	65
※878	7月23日	アレルギー性鼻炎について	しんかわ耳鼻咽喉科クリニック 院長 宮崎貴志	75
879	8月1日	糖尿病と歯周病の危ない関係 ～お口の健康は長生きのもと～	愛知学院大学歯学部 内科学講座 准教授 成瀬桂子	200
880	8月27日	今日から実践 よりよい睡眠の 知識	藤田医科大学 精神神経科学講座 教授 北島剛司	232
※881	9月14日	気管支喘息の最近の話題	藤田医科大学 呼吸器内科学Ⅱ講座教授 総合アレルギーセンター長 堀口高彦	59
※882	10月23日	ロコモを知っていつまでも楽し く歩く あなたの血圧はだいじょうぶで すか？	春日井市民病院 循環器内科 医務局長兼部長 小栗光俊 リハビリテーション科 第二部長 平出隆将	58
883	10月31日	こどものより良い成長を目指して ～低身長・肥満の診療を通して 伝えたいこと～	名古屋市立大学大学院 医学研究科新生児・ 小児医学分野 助教 青山幸平	59
※884	11月9日	地方大学での地域包括ケアシス テムの試み	藤田医科大学 副学長 金田嘉清	86
※885	11月21日	ロコトレをマスターしよう	医療法人青澄会 理事長 鈴木潔	21

※886	11月24日	脳卒中の総論 自分でできる脳卒中リハビリ 脳卒中予防のために糖尿病を知る	豊橋市民病院 脳神経外科 医 長 伊 藤 真 史 リハビリテーションセンター 理学療法士 内 藤 善 規 空野医院 院 長 空 野 武 彦	130
887	11月28日	血管の病気とその治療	名古屋第一赤十字病院 院 長 錦 見 尚 道	211
888	12月10日	膵臓外科の進歩	藤田医科大学 ばんだね病院 消化器外科 教 授 堀 口 明 彦	148
889	1月6日	意外と知らない近視・遠視に 潜む病気	名古屋大学 眼科学教室 講 師 兼 子 裕 規	183
※890	1月19日	知っておきたい 耳鼻咽喉科の悪性腫瘍、嚥下について	岡崎市民病院 都 築 秀 典	60
891	2月4日	便通異常への日常臨床での対応	星ヶ丘マタニティ病院 副院長・内科部長 金 子 宏	176
※892	2月9日	骨と筋肉と健康寿命	国立長寿医療センター 整形外科ロコモ診療科 医 長 渡 邊 剛	135

※ は地域開催

難病相談室取扱いケース内容〈別表5〉

ケース		神 経	耳 鼻	眼	膠原病	皮 膚	骨・関節	腎 臓	循環器	消化器
	新規ケース	281	23	41	132	50	70	16	24	73
継続ケース	326	7	192	183	51	55	30	37	133	
計	607	30	233	315	101	125	46	61	206	
数		呼吸器	内分泌 及び代謝	脳外科	血液	小児	心身	血管外科	その他	合 計
	新規ケース	32	38	27	16	19	32	5	108	987
	継続ケース	17	29	16	23	11	41	2	27	1,180
	計	49	67	43	39	30	73	7	135	2,167

取 扱 い 内 容	アセスメント（重複）	
	疾病の背景要因の発見	8
	治療や療養生活への適応	1,215
	家族との関係や家族の生活	165
	住居などの社会生活	147
	就労支援	158
	医療・生活などの経済面	285
	社会復帰への受入れと適応	489
	医療機関利用	341
	その他	35
	合 計	2,843
	主なケースワーク措置	
	応急的援助	5
	背景調査	16
相談面接	1,125	
関係調整	926	
制度利用	35	
施設利用	10	
グループワーク	41	
その他	9	
合 計	2,167	

新 規 ケ ー ス 紹 介 者	医療機関	73
	保健所・保健センター	142
	福祉事務所	5
	その他公的機関	60
	本人又は家族	244
	広報・ポスター等	352
	新聞・ラジオ・テレビ	0
	その他	111
	合 計	937

生命保険団体取扱状況調〈別表6〉

(令和2年3月末現在)

会社名	契約人数	契約件数	月掛保険料
日本生命	166人	238件	20,627,464円
ジブラルタ生命	19	29	2,020,731
第一生命	76	138	7,354,418
朝日生命	29	42	2,152,812
明治安田生命	66	92	4,940,689
大樹生命	117	169	9,595,536
住友生命	44	54	3,488,991
合計	517	762	50,180,641

報道関係者との懇談会〈別表7〉

通算回数	年月日	テ ー マ	医師会参加人数	報道関係者参加人数
224	8月29日	1. チャイルド・デス・レビュー 野田理事 2. 外国人医療について 加藤理事	4	5
225	12月12日	1. 地域医療構想について 伊藤理事 2. 保健・医療・福祉の連携強化に関する シンポジウムについて 野田理事	16	7

会館会議室等使用状況〈別表8〉

会 場 名		件 数
B 1	講 堂	26
4 F	理 事 会 議 室	60
5 F	501 会 議 室	126
6 F	601 会 議 室	85
6 F	研 修 室	111
7 F	情 報 セ ン タ ー 研 修 室	11
8 F	801 会 議 室	106
8 F	802 会 議 室	115
8 F	803 会 議 室	90
8 F	804 会 議 室	65
8 F	805 会 議 室	30
8 F	応 接 室	38
9 F	大 講 堂	149
合 計		1,012

## 決 議

人生百年時代を迎えるなか、幸福な国民生活を将来にわたりおくるためには、医療・介護の充実が不可欠である。

よって、十分な医療供給体制の維持と持続可能な社会保障制度の確立に向けて、本協議会の総意として、下記のごとく決議する。

### 記

- 一、 国民が必要な医療・介護を受けられるための適切な財源の確保並びに次期診療報酬改定のプラス改定
- 一、 国民と医療機関等に不合理な負担を強いている医療等に係る消費税問題の抜本的な解決

令和元年11月21日

愛知県国民医療推進協議会

令和元年度事業報告書（平成31年4月～令和2年3月）には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益社団法人 愛知県医師会